

授業科目名・形態	社会福祉概論Ⅱ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	中里 操・高木さひろ	実務経験の有無	無	開講期	1年後期

【授業の主題】

社会福祉概論Ⅰの学びを前提にして、実際の社会福祉制度・行政の基なる社会福祉政策について理解する。社会福祉の歴史的な理念や価値観とは別に、今日の福祉制度は福祉政策の枠組みの中でシステムとして存在している。本科目では福祉政策の構成要素について学び、併せて関連領域である教育・住宅・労働政策等との関係について理解する。これらを踏まえて相談援助活動と福祉政策の関係について理解する。

【到達目標】

- 1 福祉改革を始めとする政府主導の福祉政策とその課題を理解する。
- 2 福祉政策の構成要素である政府、市場、家族、個人の役割を理解する。
- 3 福祉政策と関連政策である教育政策、住宅政策、労働政策などとの関係について理解する。
- 4 相談援助関係と福祉政策との関係について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 福祉政策の構成要素と過程①（福祉政策の構成要素とその役割・機能、供給の多元化）（中里）
- 第2回 福祉政策の構成要素と過程②（福祉政策の過程と評価、福祉計画、福祉行財政）（中里）
- 第3回 福祉政策の動向と課題①（社会福祉基礎構造改革の理念・意義・目的）（中里）
- 第4回 福祉政策の動向と課題②（社会福祉法の成立と法改正——どこへ向かうのか）（中里）
- 第5回 福祉政策の動向と課題③（福祉政策と包括的支援の課題、福祉人材確保と新たな手法）（中里）
- 第6回 福祉関連施策①（保健医療政策）福祉制度の課題①（社会福祉制度の構造と制度体系）（中里）
- 第7回 福祉関連施策②（教育政策、子供の貧困問題対策）（中里）
- 第8回 福祉関連施策③（福祉環境政策、住宅政策）（高木）
- 第9回 福祉関連施策④（労働政策、労働市場と雇用保険、雇用政策と生活困窮者自立支援制度）（高木）
- 第10回 福祉関連施策⑤（災害政策の現状と災害対策関連法規）（高木）
- 第11回 福祉サービス供給・利用システム①（福祉供給システム、社会的分業、福祉多元主義）（高木）
- 第12回 福祉サービス供給・利用システム②（福祉供給過程、福祉ニーズと資源のマッチング）（高木）
- 第13回 福祉サービス供給・利用システム③（福祉利用過程、利用する権利、権利擁護の仕組み）（高木）
- 第14回 福祉政策の国際比較（諸外国の高齢者福祉・介護を中心に）（高木）
- 第15回 これからの社会福祉（社会福祉の出発点、到達点、展望）（中里・高木）

【授業実施方法】

講義形式で行う

【授業準備】

前回講義の内容を復習する。講義予定内容を読み専門用語及び概念などについて調べ、疑問点を整理しておく。講義中に取り上げたテーマなどを自ら文献に当たるなどして確認する。社会福祉関連のニュースに関心を寄せ、目を通し自分なりの理解と説明ができる状態で主体的に準備をする。

【主な関連する科目】

社会福祉概論Ⅰ、 社会保障論、 公的扶助論

【教科書等】

最新・社会福祉士養成講座『社会福祉の原理と政策』 中央法規出版新

【参考文献】

適宜紹介する

【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 10%、提出レポート 30%、期末試験の成績 60%の総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

社会福祉概論Ⅰの学びを基礎に、制度・政策の実際を福祉システムとして具体的に理解することが必要です。社会福祉概論Ⅱはより具体的・積極的に福祉問題に関心を寄せ、地域包括支援システムを理解するために医療、介護、教育などの関連領域と児童、高齢者、障害者などの分野横断的な総合福祉システムとして理解することが求められています。しっかりと予習・復習をして下さい。